エアドロップ、ハードフォーク、ステーキング、マイニングおよびNFT

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

ガイドは、対価を支払わずにトークンを取得する一般的な方法のそれぞれについて取扱いを示しています。

無償で受け取ったエアドロップは所得ではありません。サービス（マーケティング・タスク、紹介、「クエスト」）の見返りとして、またはそれを期待して受け取ったエアドロップは、そのサービスからの所得であり、受領時に評価されます。[1] この区別は、偶発的な利得は受領者が行った何かへの報酬でない限り所得ではない、という一般原則に沿ったものです。エアドロップで得たトークンを後に処分した場合は、商取引の徴表に基づいて課税されます。取得原価は、無償のエアドロップについてはゼロ、対価として得たものについては課税された価額となります。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ハードフォークによって、2つ目のトークンが無償で生じます。ガイドは、その受領を課税されない偶発的な利得として扱い、後の処分については受領者が商取引を行っている場合にのみ課税します。[2] 実務上の問題は原価の配分、すなわち元のトークンの原価の一部をフォークで生じたトークンに配分すべきかどうかです。ガイドは方法を定めておらず、内国歳入庁（IRAS）は合理的で一貫して適用される方法であれば受け入れます。新しいトークンの原価をゼロとすることは保守的な方法であり、争いを避けられます。

マイニングについては、採掘時ではなく、採掘したトークンの処分時に課税されます。マイニングを行う会社は一般に事業を営んでいるものとみなされ、採掘したトークンの売却利益に課税されます。マイニング費用は事業開始時から損金算入できます。マイニングを行う個人は、そのマイニングが反復的かつ組織的なものでない限り、趣味として行っているものとして扱われます。そのため、個人が採掘したコインを売却して得た利得には課税されず、損失も控除できません。特定の相手方にマイニングやバリデーションのサービスを提供して得た手数料は、サービス所得として課税されます。[3] シンガポールでは電力コストの関係でマイニングはほとんど行われていませんが、同じ分析はバリデーターやノード運営者にも当てはまります。彼らは経済的にはマイナーよりもサービス提供者に近く、ある程度の規模で運営するようになれば、ブロック報酬やチップがサービス所得として扱われることを想定しておくべきです。

ステーキング報酬は、ガイドの当初の構成では個別に扱われておらず、IRASは類推によって対応してきました。バリデーターに委任する保有者が得る報酬は保有資産からのリターンであり、トレーダーの場合は第10条第1項(g)号に基づく所得となります。一方、長期投資家は、報酬は資本資産の増加分であると主張することができます。実務上、IRASは、定期的に受け取るステーキング報酬を、保有者の立場にかかわらず、利子または現物配当との類推により所得として扱い、受領時に評価してきました。[4] この点について、すべての個人保有者のステーキング報酬を動産からの所

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

得として課税するスイスの立場（第G部第II章）は少なくとも明確です。これに対し、シンガポールの立場には、受動的な投資家にとってなお一定の不確実性が残っています。

非代替性トークン（NFT）は、他の資産と同じ論理に従います。NFTを発行（ミント）して販売するクリエイターは、商取引または職業を営んでいるものとして、その売上に課税されます。NFTを購入して後に売却するコレクターは、商取引の徴表が商取引を示す場合にのみ課税されます。NFTのコントラクトにプログラムされ、二次販売の際にクリエイターに支払われるロイヤルティは、第10条第1項(f)号または(g)号に基づく所得となります。シンガポールの財務大臣は2022年3月、NFTからの所得は通常のルールに基づいて課税され、別個の制度は存在しないことを確認しています。[5]

注

1. IRAS, e-Tax Guide *Income Tax Treatment of Digital Tokens*, second edition, 2026年1月30日, エアドロップに関する項（無償のエアドロップは所得ではなく、サービスの対価としてのエアドロップは課税対象）。 ↩
2. IRAS, e-Tax Guide *Income Tax Treatment of Digital Tokens*, second edition, 2026年1月30日, ハードフォークに関する項（受領時は偶発的利得、商取引を行っている場合は処分時に課税）。 ↩
3. IRAS, e-Tax Guide *Income Tax Treatment of Digital Tokens*, second edition, 2026年1月30日, マイニングに関する節（処分時に課税、会社は利益に課税、個人は趣味と推定、サービス手数料は課税対象）。 ↩
4. IRAS, e-Tax Guide *Income Tax Treatment of Digital Tokens*, second edition, 2026年1月30日、および個人向けデジタルトークンに関するIRASウェブサイトのガイダンス。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

5. シンガポール議会における財務大臣の議会答弁（2022年3月11日）、NFT取引の税務上の取扱いについて。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com